

※ 洪水ハザードマップにつきましては各家庭1部お取り下さい。

洪水ハザードマップ変更のお知らせ



平成30年1月、神奈川県が金目川水系「金目川、大根川、善波川、室川、水無川及び葛葉川」の浸水想定区域（想定最大規模※¹）を見直したこと※²に伴い、本市における地区別の洪水ハザードマップを作成しました。

別紙「洪水ハザードマップ（地区別）」※³について、市民の皆様にご配布いたしますので、各家庭において保管し洪水被害のリスクを確認していただきますようお願いいたします。

なお、市ホームページにおいては4月からデータを更新して公開しておりますので、そちらもご参照ください。

※¹ 想定最大規模とは、該当する河川のほか、近隣の河川における降雨が同じように発生するという考えに基づき、日本を降雨の特性が似ている15の地域に分け、それぞれの地域において過去に観測された最大の降雨量により設定したものです。

※² 酒匂川水系の浸水想定区域については、神奈川県において見直されていないことから、四十八瀬川の浸水想定区域の変更はありません。

※³ 自治会の区域につきましては、平成27年度時点のものとなっています。

○詳細について

配布させていただく地図は広域となっています。詳細につきましては、お手数ですが、市ホームページで拡大して確認していただくか、防災課にお問い合わせ下さいますようお願いいたします。

○市ホームページ

「市民の方へ」 - 「防災・安全・安心」 - 「防災」 - 「その他の防災情報」 - 「秦野市地区別洪水ハザードマップについて（リニューアルしました!）」